

2015年6月20日に実施された第5回日本祭り開会式における東大使挨拶

日本祭りへようこそ！

リスボン市、ポ日友好協会、EGEAC との共催、そして今年から日本人会の協力も得て、第5回目の日本祭りを開催できることを大変光栄に存じます。

これら共催団体の支援なしには、祭りをこれほどの規模に拡大し、リスボン祭りの一環として、年一度の恒例行事として当地コミュニティーに根付かせることはできなかつたことでしょう。

また、この場を借りて、JapanNET 加盟団体、日本企業を初めとする参加団体の協力を御礼申し上げるとともに、来場いただいた皆様が日本に関心を持ってくださっていることに感謝申し上げます。

昨年、この舞台で挨拶した際、安倍総理大臣のポルトガル訪問後、日本とポルトガル両国の関係に新たなダイナミズムが生まれているというお話をしました。まさに、その後、両国の交流は大臣や与党幹事長等政府要人のポルトガル訪問が実現するなど新たな進展がありました。

そして、去る3月、日本が桜で満開となる時期に、パソス・コエリョ葡首相が、ポルトガル首相として25年ぶりに訪日されました。

また、少し前には、内閣府大臣政務官が「ブルーウィーク」の会議に参加するためにポルトガルを訪問されました。

少し停滞気味であった両国間関係の活発化が実現し、さらには新たな共通の関心分野が開拓されています。

今年の祭りのテーマは、これまでとは少し異なり、日本とポルトガル語圏諸国の国々との交流に重点を置いています。これは、昨年、日本が CPLP（ポルトガル語圏諸国共同体）にオブザーバーとして参加することが承認されたことを受けてです。日本の CPLP 参加を記念し、また、CPLP 諸国との文化面での交流深化に向け、ポルトガルのサラッフォ・グループ「バルドアーダ」と和太鼓グループ「西和太鼓」による太鼓饗宴を御覧いただきます。

さらには、日本から和太鼓と篠笛のデュオ「朋郎」が駆けつけオープニングを飾ってくれました。ポルトガルの J-POP ダンスグループ「BB5 Dance」も登場し、皆さんと一緒に AKB48 のダンスを踊ってくれます。

本祭りにて日本文化の様々な側面を知っていただき、また異文化間相互理解が促進することを期待しています。

皆さん楽しんでいてください！

ご清聴ありがとうございました。

(了)